

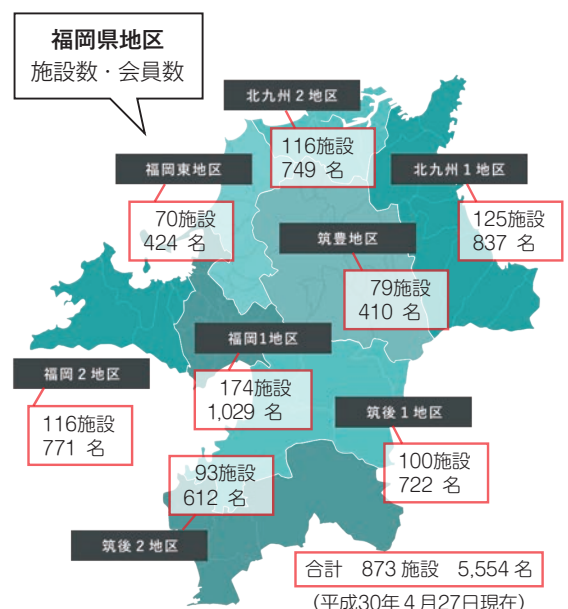
ぴしゃっと!



公益社団法人 福岡県理学療法士会

【巻頭言】 災害時に理学療法士が専門職として 出来ること

理学療法士とは？	2
お仕事紹介	3～4
オリ・パラ企画、夢を叶える シリーズ	5 6～9
ロコフレ予防体操 下肢：股関節	10～13
支部だより	14～16
学術研修部からの報告	17～18
地域包括推進部	19
設立50周年を迎えます！	20
ワーク・ライフ・バランス、おすすめの本	21
広告	22
編集者より、定期郵送の募集	23



巻頭言

公益社団法人福岡県理学療法士会 会長
西 浦 健 蔵



災害時に理学療法士が専門職として出来ること

私たちの住む日本は地理的な条件や地域的な環境などから、台風や大雨、地震や津波、川の氾濫や浸水などの災害に直面する機会が多いと言われています。九州におきましても近年の大規模災害として、平成28年4月に熊本地震が、そして平成29年7月には九州北部豪雨が発生しました。

災害時に理学療法士が支援している活動のひとつに、避難所等の現地に赴き、障がい者や高齢者などの被災住民の活動性低下を予防するための直接的支援があります。また、被災地の行政や多職種と共に災害対策本部に参加し、避難所からの情報収集、派遣人材の確保および派遣スケジュールなどの調整ならびに情報共有を担っていく間接的支援があります。

当会は福岡県と『福祉等専門人材派遣に係る協定』を締結しておりますが、今後、万が一災害が発生した際に、その要請に対し迅速かつ的確に対応していけるよう、災害医療研修等に会員を送り出しスペシャリストを養成しています。また、本年より、当会が主催する災害リハビリテーションに関する研修会を実施する運びとなりました。より多くの理学療法士に「災害に対する理学療法」を考える機会を設け、これからも更なる対策を強化していきたいと考えます。

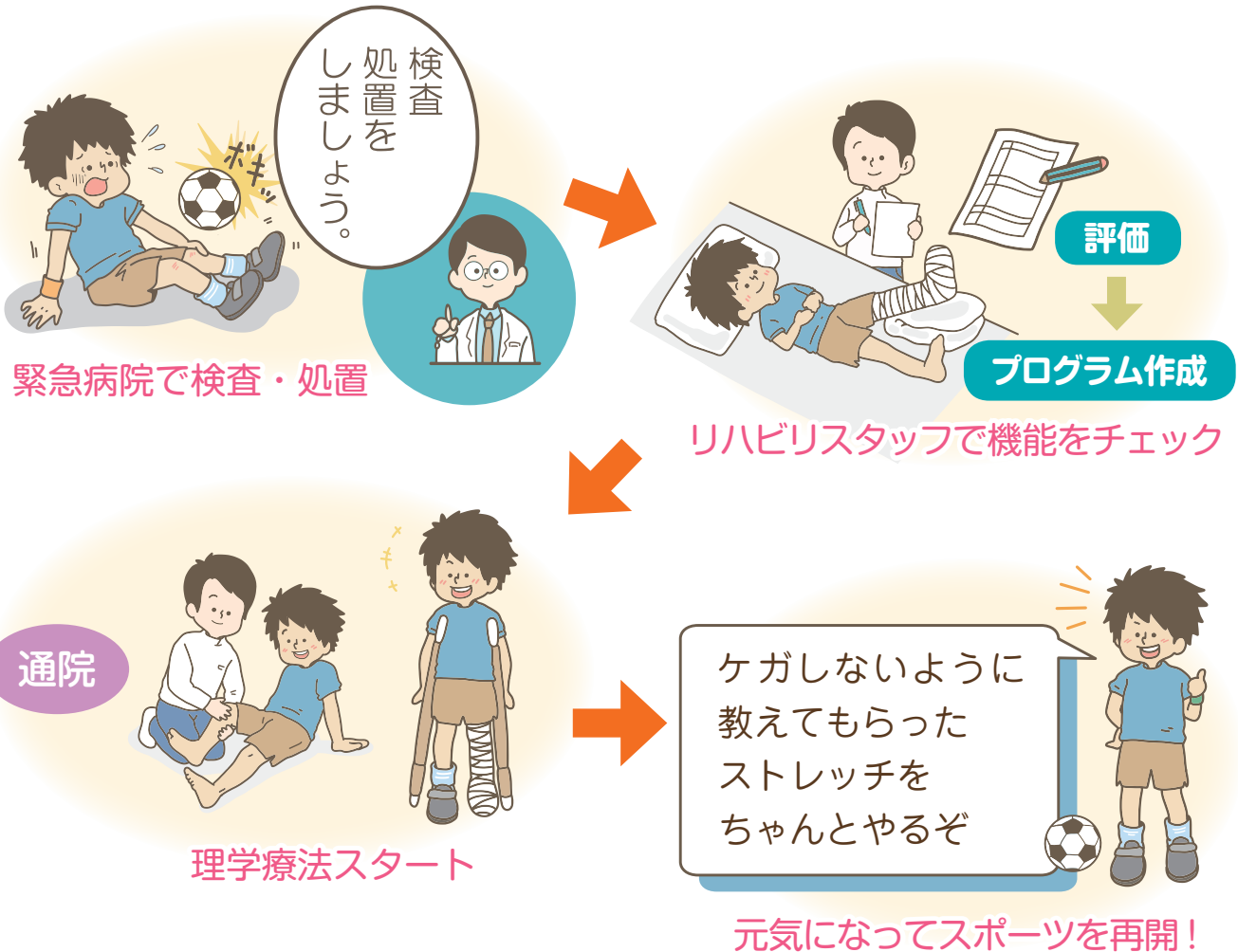
最後になりますが、理学療法士は県民皆様が安心して生活できるように日々研鑽を続けて参ります。今後とも公益社団法人福岡県理学療法士会に対しまして、何卒、より一層のご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

理学療法士とは？

理学療法士の役割についてご紹介します。

ケース

サッカーをしていて骨折！！



リハビリテーションとは？

リハビリテーションとは、「再び良い状態を取り戻す」という意味があり、人間が人間らしく生活できる社会を目指す共通理念を示しています。心身に障がいを持った人に対し、身体的・社会的・職業的・教育的など、あらゆる方向から援助し、社会復帰を目指すものです。

理学療法とは？

理学療法とは、身体が不自由になった人に対し、身体と心の両面から機能回復・維持を図る医療の一つです。専門の理学療法士によって、病院での治療や地域での支援活動、介護する家族への指導、予防医学に関する助言など、幅広い範囲で行われています。

理学療法士は、理学療法を行うことでリハビリテーションを進めていきます。

お 仕 事 紹 介

理学療法士が働く様々な分野を紹介します！

急性期で活躍する理学療法士を紹介

久留米大学医療センター
理学療法士 塚田 裕也 氏

私は「急性期」と言われる、手術直後や発症早期の病態が不安定な時期の理学療法を主に行なっております。その中でも循環器内科領域、つまり心臓や全身の血管に何らかの障がいがおこり、命の危機に晒された直後の患者さんのリハビリテーションに従事しています。私が急性期理学療法において大切にしていることは「洞察力」です。洞察力とは、様々な知識の引き出しを最大限に生かした「観察力」のことを言います。毎日変化していく身体状態に対し、時には積極的、時には安静を優先する選択に迫られることがあります。かつては「安静」を強いられていた循環器疾患の治療から一転、「できるだけ早期から運動療法を」と理学療法士の知識の高さや運動療法の必要性も認められてきています。加えて、我が国では超高齢化社会となり、急性期とはいえ二次予防も考慮しながらのチーム医療が求められてきています。そのため栄養、服薬などの知識も考慮した運動療法が求められてきています。先日、ミュンヘンで行われた欧州心臓病学会に理学療法士として参加してきました。そこでは運



動療法のセッションが設けられ、世界的にも、急性期から二次予防を意識した介入の必要性を感じました。一方で、海外と日本では高齢化率も違えば、法的制度も違います。世界で日進月歩に進んでいく急性期医療の現場で今後わが国に必要となる急性期理学療法は、これまで求められてきたリスク管理・廃用予防だけではなく、自宅退院の可否や、介護保険導入など、いわゆる「洞察力」を磨き、患者さんの新たな一步の一助になることが必要とされている、と考えています。

回復期で活躍する理学療法士を紹介

医療法人かぶとやま会

久留米リハビリテーション病院

理学療法士 立石 圭佑 氏

私は、久留米市にあります医療法人かぶとやま会久留米リハビリテーション病院に勤務しています。当院には一般病棟（一般病床、地域包括ケア病床）、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟があり、私は回復期リハビリテーション病棟に所属しています。当院の回復期リハビリテーション病棟では、脳卒中、脊髄損傷、大腿骨や脊椎の骨折、術後の廃用症候群など急性期での治療が終了した後も集中的なリハビリテーションが必要な患者様にリハビリテーションを提供しています。

回復期リハビリテーション病棟へ入院される患者様やそのご家族は、病気や怪我をされて間もないため、「家に帰れるだろうか？」「これからどうなるのだろうか？」「仕事は続けられるだろうか？」など、たくさんの不安を抱えています。身体機能の回復だけでなく精神的な支援も必要です。この時期の理学療法士の関わりは、患者様の今後の生活に大きく影響するため責任は非常に大きいと考えます。理学療法士の関わり方次第で、その人のこれからの人生が左右されると言っても過言ではないと思います。当院では「自宅に帰る」ことが最終目標ではなく、退院後も「その人らしい生活を送る」ことができるようになることを目標に患者様と向き合い日々自己研鑽に努めています。

リハセンター内での研修風景



当院理学療法士の集合写真

とても責任が大きい仕事ではありますが、患者様が笑顔で退院される姿や退院後に元気な姿を見せに来てくれたときには、理学療法士になって良かった！また頑張ろう！と思うことができ、とてもやりがいのある仕事です。患者様が笑顔で生活を送ることができるように、これからも当院リハセンタースタッフ一同頑張ります！

オリ・パラ企画



宗像水光会総合病院 リハビリテーション部
理学療法士 井上 茂徳 氏

私は福津市にある宗像水光会総合病院に勤務し、運動器疾患の患者さんを対象に理学療法を提供しています。当院は地域の急性期病院という事もあり、脳卒中や骨折、心疾患等発症して1ヶ月以内の高齢者が約7割を占めています。患者さんからの「歩いて帰りたい」「痛みを取りたい」の訴えに応えるべく日々奮闘しています。

私は昨年より病院業務の傍ら福岡市にある FUKUOKA DANDELION というウィルチェアラグビーのチームのサポートをさせて頂いています。ウィルチェアラグビーと聞いてピンとこない方が多いかと思いますが、リオパラリンピックでは銅メダルを獲得し、2020年東京パラリンピックでも金メダルが期待され注目されている種目です。選手は四肢に障がいを持っている方が対象のため、競技人数がとても少なく福岡県外から集まって活動しています。私はそこで選手のケアを中心に、競技用車椅子への移乗介助、トレーニングのサポート、時には選手と一緒にプレーしています。チームには日本代表選手も加入しており、今年度はプレーオフを勝ち抜いて日本選手権出場を勝ち取る事が出来ました。

私が障がい者スポーツに関わったきっかけは、福岡県で開催された中級障がい者スポーツ指導員の講習会に職場の上司から「行って見ないか?」と言われ、軽い気持ちで返事したことでした。講習会の中で様々な障がい者スポーツに触れ、病院、介護施設だけではなく、後遺症を持った方々がスポーツを通して社会参加する場でも理学療法士が活躍できるのだと気付きました。これからも理学療法士として、病院で勤務しながら、患者さんの社会参加のきっかけになれたらと思っています。



夢を叶える

新人奮闘記



戸畑リハビリテーション病院
リハビリテーション科
理学療法士 今泉 僚 氏
(小倉リハビリテーション学院 夜間部卒業)

私は「人の役に立ちたい」という思いで、理学療法士の道を選びました。

理学療法士として勤め始めて、慣れない事が多く、自分の事だけで精一杯でした。しかし、退院されていく患者様を見ているうちに「より良いリハビリテーションを提供したい」と感じるようになりました。

現在は、院内外の勉強会へ積極的に参加し自己研鑽に励んでいます。今後もより多くの人役に立てるように頑張っていきます。

イキイキ健康生活！産業理学療法！

低栄養予防

麻生リハビリテーション大学校 理学療法士 松崎 哲治 氏

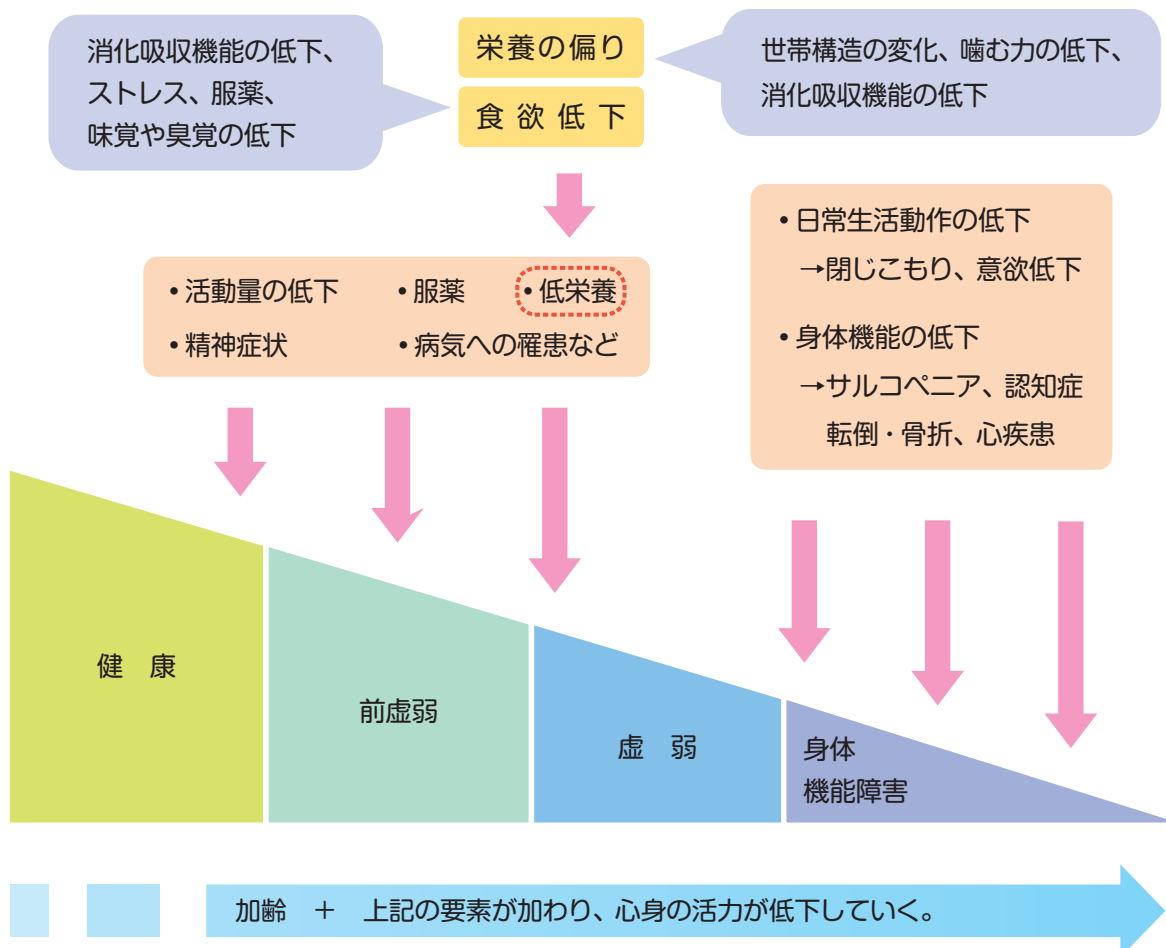
1) 介護予防における栄養分野の必要性

食べることは生きるうえでとても大切です。「食べて、寝て、出す。」この当たり前のことが出来ないと身体的・精神的に豊かな生活が送れているとは言えません。加齢に伴い身体機能に支障をきたし、悪化すると要介護・寝たきりになることがあります。通常、筋肉は運動による刺激やたんぱく質の摂取によって維持・増加します。食事が減少すると筋肉の合成量が低下します。これを予防するには、効果的な栄養の摂取と運動が大切です。今の食生活を振り返り、どのような食べ方が良いかに気付き、健康な生活を送るためのヒントを紹介します。

低栄養とは：活動源となる「エネルギー」や、生命を維持する「たんぱく質」が十分に摂取できず、不足している状態を言います。

図1 高齢者の「食」を中心とした虚弱モデル

(※飯島勝矢氏、鈴木隆雄氏「フレイルの概念」の図を一部改変)



2) 栄養アセスメント

低栄養状態、過体重、生活習慣病等を把握するためには、アセスメントを実施することが必要です。特に、低栄養状態はさらなる身体の老化を進めてしまいます。アセスメントの結果「低栄養」と判断された方は、栄養士による栄養相談を実施しましょう。なぜ低栄養状態になってしまったのか、家族と一緒に理由を考えていくことも大切です。もちろん、低栄養状態でない人も定期的に振り返りが必要です。目標は「元気で過ごせる身体づくりができるよう、自分の食生活の問題点に気づき、どのように変えていけば良いかを学び、できることから実行する」ことです。

アセスメントとは：得られた様々な情報から、現状を評価すること

3) 栄養アセスメントの具体的な進め方

①質問

ア) 食欲の有無

例：食欲はあるか。また、低下の原因は何か(気分的に量が入らない、形態が合わない)。

イ) 体調の変化

例：風邪をひきやすくなっていないか。疲れやすくなっていないか。など

ウ) 口腔機能の変化

例：義歯は合っているか。虫歯があるか。など

②質問

	0か月後	1か月後	3か月後	6か月後
日付	月 日	月 日	月 日	月 日
身長 (cm)				
体重 (kg)				

注意：体重の減少に関する判断は基となる体重によって判断が異なる(⑤を参考)。

③BMI値(体格指数：自分の体格を客観的に把握・評価できる指標)の計算

BMI	体重	身長	身長
	=	kg ÷	m ÷ m

※腰が曲がっている人の身長の測り方には注意が必要。

④BMIの判断目安(肥満度の判定)

BMI	18.5未満	18.5~24.9	25.0~34.9	35.0以上
状態	痩せ	標準	肥満	高度肥満

(日本肥満学会「肥満症診断基準2011」より)

⑤低栄養状態のリスクの判断

リスク分類	低リスク	中リスク	高リスク
BMI	18.5～29.9	18.5未満	
体重減少率	変化なし (減少3%未満)	1か月に3～5%未満 3か月に3～7.5%未満 6か月に3～10%未満	1か月に5%未満 3か月に7.5%未満 6か月に10%未満
食事摂取量	76～100%	75%以下	
褥瘡			あり

(厚生労働省「栄養改善マニュアル」より)

4) 高齢期の食生活におけるポイント

●こんなことはありませんか？

- 好きなものばかり食べていることが多い
- 高血圧、糖尿病、コレステロールが気になり肉・魚・卵類は控えている
- 菓子類や菓子パン、酒やつまみでお腹が満たされ、食事をしていない

表1 低栄養を予防し老化を遅らせるための食生活指針

1. 3食のバランスをよくとり、欠食は絶対さける
2. 油脂類の摂取が不足しないように注意する
3. 動物性タンパク質を十分に摂取する
4. 肉と魚の摂取は1：1程度の割合にする
5. 肉は、さまざまな種類を摂取し、偏らないようにする
6. 牛乳は、毎日200ml以上飲むようにする
7. 野菜は、緑黄色野菜、根菜類など豊富な種類を毎日食べる
8. 食欲がないときには、特におかずを先に食べ、ごはんを残す
9. 食材の調理法や保存法を習熟する
10. 酢、香辛料、香り野菜を十分にとり入れる
11. 調味料を上手に使い、おいしく食べる
12. 和食、中華、洋風とさまざまな料理をとり入れる
13. 会食の機会を豊富につくる
14. 噛む力を維持するために、義歯は定期的に点検を受ける
15. 健康情報を積極的に取り入れる



*低栄養予防ハンドブック（厚生労働省・地域ケア政策ネットワーク）から抜粋

5) 口腔機能向上のプログラム (お口のトレーニング)

食べ物を噛む機能や飲み込む機能は、年齢を重ねるにつれて低下します。このような口腔機能の変化から、低栄養を招くこともあります。以下の体操を行い、口腔機能を向上させ、低栄養を防ぎましょう。体操は、椅子に座って背筋を伸ばし、足を肩幅に開いて床を踏んだ状態で行いましょう。

深呼吸

ラジオ体操のように手を大きく上にあげながら、鼻から息を吸いましょう。手をおろしながら、口をすぼめて『フー』と、ゆっくり吐きましょう。

首と肩の体操



顔の横向き (左右)



首の横曲げ



首の上下



肩の上下

口の周りの体操 「あー・いー・うー」



口を大きく開く



横にしっかり引く



しっかりすぼめる

頬の運動



頬膨らまし (両方)



頬へこまし



頬膨らまし (左右)

舌の体操 できるだけ大きく動かす



舌の前後



舌の上下



舌の左右



舌の回転

予防体操

四つ這い運動



左右で交互に実施します。
目線は前方を見るようにすると良いです。

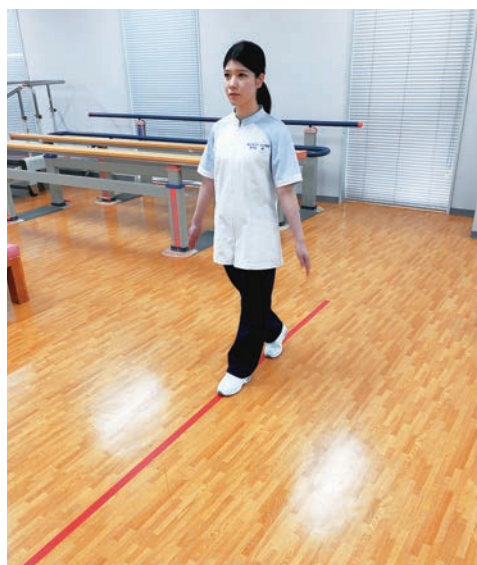
- ① 四つ這い位になって、片方の足を伸ばして挙げます。



- ② 一側の足と反対側の手を同時に挙げます。



両手を広げてバランスをとりながらして下さい。
るように歩きます。



バランスに自信のない方は、転倒の危険がありますので注意してください。

ロコモフレ予防体操

この体操で痛みを強く感じる場合は中止してください

ロコモフレと一緒に
ロコモフレ予防体操!

皆さん、ロコモのフレンドと一緒にロコモフレ予防体操を続けています。第1回目は、『ロコモとフレイルについて』と『膝関節の運動』をご紹介や筋トレなど毎日のケアを忘れないようにしてくださいね。

さて、今回は『股関節の運動』をご紹介します。股関節は、高齢者ではなる場所です。股関節は、単独で動くのではなく、腰椎 - 骨盤 - 股関節の動きが硬いことで股関節の痛みが発生したりします。つまり、痛みのおが必要です。

そこで今回は、股関節の運動に加え、腰椎 - 骨盤 - 股関節が連動した全

ストレッチ

股関節の前にある筋肉：腸腰筋

- ① 両手で片膝を抱え込んで、もう片方の膝が浮いてこないように床に押し付けます。左右で実施します。



予防体操

下肢：股関節



か？

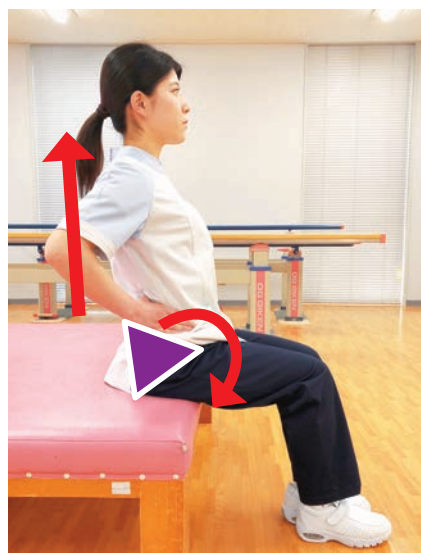
介しました。膝関節は、日常生活で酷使することが多い関節ですので、ストレッチ

最も多く骨折する部位の一つであり、若い人であればヒップアップなど何かと話題が連動して動きます。そのため、股関節の動きが硬いことで腰痛が発生したり、腰

身の姿勢調整に繋がるような体操をご紹介します。

腰椎 - 骨盤 - 股関節の複合運動

- ① 骨盤を前に起こすようにして、腰を反らします。
- ② 骨盤を後ろに倒して、腰を丸めます。



前傾：おへそを前に突き出すように



後傾：おへそを中に引き込むように



両手を骨盤に添えて、骨盤の傾斜を確認してみましょう。

ロコフレ

ロコフレ予防体操

この体操で痛みを強く感じる場合は中止してください

筋力増強運動

おしりにある筋肉：大臀筋

- ① 両手を広げて、両膝を曲げます。



- ② おしりを挙げて10秒間くらい止めます。



バランス運動

片脚立ち

- ① 片方の足を挙げて10秒くらい保持します。左右で実施します。



継ぎ足歩き

線の上に沿って歩きます。右足と左足が一直線上になる。



片方の手を台などに置いて支えにして下さい。





支部だより



福岡県理学療法士会には福岡・北九州・筑後の3つの支部があり、研修会活動や、地域の皆様への転倒予防教室の開催、様々なイベントへの参加など、各支部活発な活動を行っています。

福岡支部

原土井病院 馬場 慶和 氏

第2回 福岡支部研修会

「内部障害から理学療法の本質を学ぶ!」という全体テーマで、平成30年11月25日(日)に第2回福岡支部研修会を開催しました。近年、内部障害の患者数は増加傾向にあり、合併症を含めると日々の臨床業務の中で関わる機会が多くなっているのではないかと思います。そこで、呼吸・心臓・がんに対するリハビリテーションを通して、機能障害のみに捉われず、どのように日常生活動作に展開していくのか、入院中から予防的な側面をどのように取り入れたらよいのか、さらにはその人らしさを尊重するために必要となるQOLの実現に向けた介入の実際などを学ぶことができました。

また、参加者全員を交えての意見交換及び交流の場としてディスカッションの時間を設け、内部障害に対する理学療法の考え方や課題を共有することができ、大変盛り上がった研修会となりました。





第2回 北九州支部研修会

～北九州支部合同症例検討会開催報告～

平成30年8月10日(金)にJCHO九州病院にて、北九州支部合同症例検討会を開催しました。支部合同開催の症例検討会は3回目の開催となり、今回は総勢17名の方から発表の応募を頂き、2会場での開催となりました。第1回から採点方式による「優秀賞」を準備して座長からの総括とともに表彰状を贈呈す

る趣向で開催しています。北九州支部としては、症例発表を新人理学療法士の登竜門という位置付けよりも、臨床の疑問や標準的な理学療法を共有する場にする為に、経験年数が10年を超える方からも発表して頂き、経験年数に関係なく切磋琢磨できる場となるように取り組んでいます。聴講者から“先輩からの金言がたくさんありました”という声をたくさん頂き、発表者自身からも“発表に向かって準備する過程から学ぶ事が多く、発表して良かった”という声を頂きました。そのような中、飯塚市立病院の森聡氏、飯塚病院の池之野有香氏の2名が「優秀賞」を受賞しました。

今回は初の試みとして、福岡県内の理学療法士養成校に研修会の案内を送付し、学生参加を募り、北九州の養成校を中心に多数の学生の参加もありました。日々の臨床で常に研鑽している先輩理学療法士に直に触れる事で、“自分も理学療法士になったら県士会に入会してこの様な場に立ちたい”という感想が多く聞かれました。来年度も実施する予定ですので、ぜひ演者としてご参加ください。



左から河上淳一氏（九州栄養福祉大学）、森聡氏（飯塚市立病院）、池之野有香氏（飯塚病院）、鈴木裕也氏（製鉄記念八幡病院）
優秀賞受賞は中央の2名、両側の2名は司会

介護予防事業「八女市 転倒予防教室」

平成30年10月28日（日）に八女市にある総合保健福祉センター「そよかぜ」で開催いたしました。約30名の地域住民の皆様にご参加頂きました。

内容は①転倒予防講座②体操③体力測定です。体力測定では、1グループ5～6名にそれぞれスタッフが付き、握力、身体の柔軟性、バランス能力、歩行能力を測定しました。グループに分かれて測定を行ったことで、参加者の皆様とコミュニケーションを取りながら楽しく行うことができました。今回の転倒予防教室を通して学んだことは介護予防の大切さです。高齢化社会が進んでいる現在、幅広い世代が健康的に生活することがいかに大切かを実感しました。今回の参加者の皆様の中にも、健常者に近い状態の方や転倒リスクが高い方もいました。高齢者の方々の生活の質を維持・向上していくためにも、普段から患者様の現状だけでなく、生活環境など幅広い視野を持って関わっていきたいと思いました。



学術研修部からの報告

第28回福岡県理学療法士学会 開催



2019年2月3日（日）に福岡国際会議場にて第28回福岡県理学療法士学会が開催されました。

今年度の福岡県理学療法士学会は参加者が592名と昨年よりも約150人多く、また発表演題数は過去最高の77演題であり、過去の同学会を上回るほどの盛会となりました。

特別講演 1

テーマ：「基本的動作能力の回復を図る治療を行うための運動療法
ーリハ医から理学療法士に求めるものー」

講師：千葉県千葉リハビリテーションセンター 副センター長 菊地 尚久 先生

特別講演 2

テーマ：「エビデンスに基づく物理療法 ～新たな物理療法の展開～」

講師：畿央大学健康科学部理学療法学科 教授 庄本 康治 氏

教育セッション

テーマ：「理学療法の研究方法論
～実例から学ぶ臨床研究の進め方・学会発表の基本～」

講師：製鉄記念八幡病院 山内 康太 氏



今回、学会最優秀賞を受賞できたことを大変光栄に思います。今回の受賞にあたり、ご指導・ご協力いただいた患者さま、当院の心臓リハビリスタッフに深く感謝いたします。当院は2017年11月より心疾患に対する運動療法を開始し、今年度より多職種連携による包括的な心臓リハビリの運営を開始しました。今年度はチームで5本の発表を行い、次年度からの前向き研究に向けて準備を進めているところです。まだ若いチームで経験が不足している部分もありますが、チームで経験した症例について学術的に検討しながら知識や技術を研鑽し、高度医療機関と在宅をつなぐ中間病院として患者さまの生活を見据えたサポートができるチームを目指しています。今後も、今回の受賞を励みに、より一層精進して参りたいと思います。



木村病院
リハビリテーション科
理学療法士
荒木 真由美 氏



Standing by your side

地域包括ケア推進部 Life Work

地域包括ケア推進部では、県民の皆様が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を目指して活動しております。

各市町村 地域包括ケア実務担当者会議（主催勉強会）開催報告（八女市）

地域包括ケア推進局 局長 松崎 哲治氏 担当理事 今村 純平氏
部長 高木 和大氏 実務担当者 加藤 裕幸氏



今年度9月より、地域包括ケア推進局では、各市町村に実務担当者を設置し、各市町村地域包括ケア実務担当者会議（主催勉強会）の開催を支援しております。今回は、八女市で行われました、地域包括ケア実務担当者会議（主催勉強会）の報告をいたします。

八女市は、県内2番目に広い面積を有し、その地域ごとに特徴的な課題を有する

ため、今回、八女市実務担当者会議を開催しました。すでにいくつかの地域では、地域包括ケアシステムに対応するための会員活動が先行的に立ち上がっていますが、当局でも同じ地域で活動する会員同士の「顔の見える関係づくり」と「地域を知るための研鑽の場」としてこの会の運営をスタートさせました。

その第1回目は、主に病院、施設の理学療法部門責任者の方に参加して頂き、先行して活動されている地域の活動紹介、市の地域特性と現状についての情報共有研修を開催しました。参加者からは、「地域に関心があり推進リーダーを取得したが、その後どうしていいかわからなかった」「ケア会議等への出務依頼が来たら不安だった」「情報共有や顔の見える関係性が出来てよかった」等様々な意見を頂きました。

市の地域特性や介護資源等を再確認し情報共有と意見交換を行う事で、実務担当者としての具体的な活動イメージを持つことができる有意義な会議となりました。

八女市でも自立支援型地域ケア会議への助言者派遣依頼がありすでに対応していますが、この会議を継続することで、地域で活動する県士会員同士の顔の見える関係作り、依頼する側（県士会や行政）、依頼される側（会員）の相互がスムーズに連携ができ、不安なく地域で活動できるよう支援していきたいと思っております。

今後も各市町村で開催予定なので、興味関心がある方は是非ご参加ください。開催の案内は、福岡県理学療法士会HP→「局・支部別更新情報」→「地域包括ケア推進局」に掲載します。今後ますます強化促進される地域包括ケアシステム構築に理学療法士会員の大きな力を注いでいきましょう。たくさんの会員の参加をお待ちしています。



福岡県理学療法士会は設立50周年を迎えます！

記念として「福岡県理学療法士会記念誌」を作成しています。
つきましては、これまでの当士会活動等で撮影された写真を募集します。

また、福岡県理学療法士会のロゴマークもリニューアルしたく、デザインを募集します。

詳しくは、当士会ホームページをご覧ください。



<https://fukuoka-pt.jp/50th.php>

公益社団法人 福岡県理学療法士会 設立50周年記念式典・祝賀会

日時：2019年9月7日（土）

会場：ホテル日航福岡 都久志の間

時間：市民公開講座 10時00分～11時00分

記念式典&記念講演 11時30分～12時30分

記念祝賀会 12時40分～15時00分



公益社団法人福岡県理学療法士会記念誌に掲載する写真募集について

平素より公益社団法人福岡県理学療法士会の活動に際して御協力頂き誠にありがとうございます。さて、このたび当士会は2019年9月に設立50周年を迎えることとなります。

そこで、設立50周年を記念して設立50周年記念誌を刊行します。その際にこれまでの福岡県理学療法士会の歩みを誌面に組み込む予定となっております。

つきましては、これまでの県士会活動等で撮影された写真を募集させていただくことになりました。ご協力よろしくお願い申し上げます。



公益社団法人福岡県理学療法士会ロゴマーク募集要項

福岡県理学療法士会が50周年を迎えるにあたって公益社団法人として県民の皆様にご信頼される理学療法士会として発展していくために理学療法士会の“これからの50年”をイメージできるロゴマークを公募します。

ワーク・ライフ・バランス

Work Life Balance

一人ひとりの仕事と生活を楽しく豊かにするために

福岡青洲会リハビリテーション部主任 理学療法士 秋吉 亜希子 氏

当院では約 100 名の職員が勤務しています。平成 19～29 年度に育児・介護休暇を取得した男性職員が 17 名、女性職員が 76 名います（複数回取得者あり）。平均年間 8 名の職員が育児・介護休暇を取得しています。

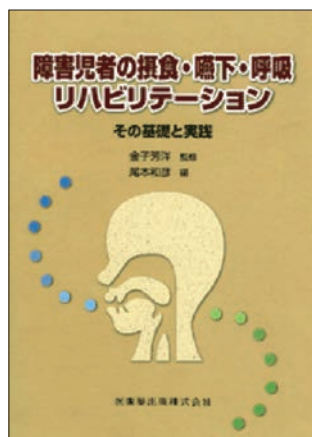
私が入職した約 15 年前は事業所内託児所がある病院は少なく、将来子育てしながら仕事を続けたいと考えていたので、当院に就職する決め手の一つとなりました。実際出産後、職場の託児所に子供を預けることとなりました。当院では多くの女性職員が 1 年間の育児休暇後、仕事復帰していて、保育園に入所できなくても事業所内託児所があることで安心して働くことができます。また男性職員の育児休暇取得率が高く、期間としては概ね 1～2 ヶ月が多いのですが子供の貴重な成長の過程を見ることができたり、子育てに参加することで母親の負担の軽減ができたり大切な時間をとれる機会になっているのではないかと感じます。

また管理する立場となり、当院のように育児、介護休暇を取得する職員が多いと人員配置や勤務調整、業務の分担が必要だと感じます。当院ではリフレッシュ休暇はありませんが、趣味や余暇の時間を取れるように有給休暇を調整しながらとれる体制作りが必要だと思います。また職場が周りに頼れる雰囲気や相談しやすい環境作りが大切になると思いますので、まずは職場のスタッフと話す機会や体制を考える場を作ってみてはいかがでしょうか？



理学療法士が選ぶ

おすすめの
本はこれだ!!



紹介者：

北九州市立総合療育センター
理学療法士

近藤 直樹 氏

会員の方より、おすすめの本をご紹介いただき、皆様に紹介していくコーナーです。

本の題名：障害児者の摂食・嚥下・呼吸リハビリテーション

著者：金子 芳洋・尾本 和彦 他

発行所：医歯薬出版株式会社

紹介理由：本書は、医師、歯科医師、理学療法士などの専門職が知っておくべき、障害児者の摂食・嚥下障害、栄養障害、呼吸障害に関する基礎知識、評価・診断ならびにアプローチの実際を、具体的に解説していますので、臨床で即実践できる内容となっています。



資格と
技術を
手に入れる!!

学校法人 国際学園
九州医療スポーツ専門学校
KYUSHU MEDICAL SPORTS VOCATIONAL SCHOOL

〒802-0077 福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目1-2
入学案内
フリーダイヤル **0120-594-160** <https://www.kmsv.jp/>

Quality of Life

やさしさを、医療を科学する...

MINATO

ミナト医科学株式会社

リハビリ機器、測定関連機器(呼吸器・聴力・筋力・血圧等)、老健・福祉施設用関連機器の総合メーカーです。お気軽にご相談ください。

北九州営業所 〒800-0213 福岡県北九州市小倉南区中曽根1丁目11番23号
TEL 093(475)3610 FAX 093(475)3660

福岡営業所 〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王2丁目2番22号
TEL 092(415)5353 FAX 092(415)5378



国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

福岡キャンパス (福岡県福岡市)

大川キャンパス (福岡県大川市)

医療福祉学研究科

修士課程

保健医療学専攻

理学療法学分野 / 作業療法学分野 / 言語聴覚分野 / リハビリテーション学分野 / 医療福祉教育・管理分野 / 災害医療分野 / 遺伝カウンセリング分野 など

医療福祉経営専攻

医療福祉国際協力学分野 / 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 / 医療福祉学分野 / 医療福祉ジャーナリズム分野 / 医療通訳・国際医療マネジメント分野 など

博士課程

保健医療学専攻

理学療法学分野 / 作業療法学分野 / 言語聴覚分野 / リハビリテーション学分野 / 福祉支援工学分野 / 医療福祉国際協力学分野 / 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 / 医療福祉学分野 / 医療福祉ジャーナリズム分野 など

主な
講師陣

- 理学療法学分野 丸山仁司教授
- 言語聴覚分野 深浦順一教授
- 災害医療分野 石井美恵子教授
- 遺伝カウンセリング分野 四元淳子講師
- 医学研究科 三浦総一郎教授 (大学院長)、辻省次教授

修了者数

修士課程 (平成12~29年度)

- 保健医療学専攻 1,821名
- ・理学療法学分野 566名
- 医療福祉経営専攻 654名

博士課程 (平成15~29年度)

- 保健医療学専攻 282名
- ・理学療法学分野 88名



- ◆多くの授業を平日夕方以降と土曜日に開講。eラーニング科目も充実
 - ◆福岡・大川・大田原・成田・東京赤坂・小田原・熱海に7つのキャンパスを設置
 - ◆医療福祉における第一人者の講義を、複数のキャンパスで受講できる「同時双方向遠隔授業システム※」
- ※専攻、分野によっては、受講できるキャンパスが限られているものがありますので、詳細につきましてはお問い合わせください
- *修士課程は、短大・専門学校を卒業した満22歳以上の方も出願可能

2018年4月、東京赤坂キャンパス開設

新設

- 医療福祉学研究科(分野新設)
 - ・災害医療分野
 - ・遺伝カウンセリング分野
- 医学研究科(研究科新設)

東京都港区の旧赤坂小学校跡地に東京赤坂キャンパスを開設しました。公衆衛生学専攻と医学専攻からなる「医学研究科」をはじめ、新分野・コースを開設し、生涯教育の拠点として大学院教育をさらに充実させます。

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

国際医療福祉大学大学院

URL <http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

福岡キャンパス

〒814-0001
福岡市早良区百道浜2-4-16
TEL 092-407-0434
E-mail fukucamp@iuhw.ac.jp

大川キャンパス

〒831-8501
福岡県大川市榎津 137-1
TEL 0944-89-2000
E-mail oochamp@iuhw.ac.jp

公式アプリ福岡理学ナビ リリースしました！

ダウンロードは
こちら



福岡県理学療法士会の
最新情報をお届けします

編集者
より

福岡県理学療法士会では、県民の皆様へ健康にまつわる様々な情報をご提供するために、年に2回（合計 22,000 部）広報誌「ぴしゃっと」を発刊しています。

「理学療法士」ってどんな仕事をするの？と知らない方もいらっしゃると思います。

「ぴしゃっと」では、県民の皆様の健康維持につながるような体操の提案はもちろんですが、理学療法士の仕事や県内の理学療法士の様々な活動も紹介させていただいています。

次号は、2019年9月発刊を予定しています。県内の地域包括支援センターや理学療法士養成学校等に配布させていただいていますが、個別の定期郵送も受け付けておりますので是非ご連絡ください。

次号も皆様の健康維持のお手伝いができるような情報を提供させていただきます。ご期待ください。

編集責任者 永野 忍（理学療法士、組織部理事、九州医療スポーツ専門学校）

【定期郵送の募集】

「ぴしゃっと」は、県民の皆様に健康にまつわる様々な情報を発信しております。定期郵送をご希望の方は、当士会までご連絡ください。

公益社団法人 福岡県理学療法士会
電話番号 **092-433-3620**



2019年 2月号

発行責任者 西 浦 健 蔵

編集責任者 永 野 忍

印刷 社会福祉法人 福岡コロニー

糟屋郡新宮町緑ヶ浜 1-11-1 TEL (092) 962-0764